

大豆ニュース No.4

～病害虫対策・雑草対策～

令和 8年 9月 4日
巻農業普及指導センター

1 生育調査結果(調査日8月25日)

調査地点		主茎長 (cm)	葉数 (L)	一次分枝数 (本/㎡)	培土実施 状況	開花期
里のほほえみ						
中之口	河間	60	13.2	46.2	2回実施	7月26日
岩室	高畑	71	13.2	37.4	2回実施	7月24日
西川	真田	63	13.4	39.3	2回実施	7月26日
平均		65	13.3	41.0		7月25日
(参考)播種90日後指標値		69	－	55.0	注)実収270kg/10aとなる生育指標(里のほほえみ)	
エンレイ						
潟東	横戸(麦跡)	73	12.4	58.7	2回実施	7月26日
西川	西汰上	63	13.4	39.3	2回実施	7月22日
平均		68	12.9	49.0		7月24日
(参考)播種90日後指標値		59	－	44.0	注)実収270kg/10aとなる生育指標(エンレイ)	
平均(5調査地点)		64	12.9	44.5		7月24日
平年値		63	12.3	38.9		7月24日

注)平年値はH29～R6の調査区平均

- 5調査地点平均の主茎長、葉数は平年並で、分枝数は多い状況です。
- 干ばつ及び湿害等の被害は少なく、概ね生育は順調です。
- 里のほほえみで葉焼病が散見されるほか、べと病や食葉性害虫の発生は少ない状況。

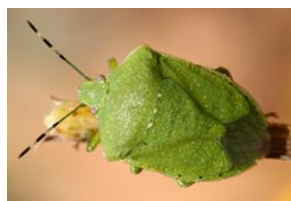
2 病害虫防除 ～発生状況によっては追加防除の検討を～

防除薬剤や時期については、7月30日付け「大豆ニュース No3」に記載してます。
(巻農業普及指導センターのホームページからご覧になれます)

カメムシ類 (吸汁痕や扁平粒が発生し、青立株となりやすい)

- 8月第5半旬からの基幹防除後も本田内でカメムシ類の発生が見られる場合は、9月中旬頃(子実肥大中期)に追加防除を実施しましょう。

(参考) ダイズ加害カメムシ類 (農研機構「ようこそ!ダイズの病害虫診断のページへ!」より)



アオクサカメムシ成虫



ホソヘリカメムシ成虫



イチモンジカメムシ成虫



ブチヒゲカメムシ成虫

農薬使用の際は、農薬容器や包装ラベル等に記載の登録内容を確認のうえ厳守し、農薬使用者は責任をもって適正に使用してください。また、薬剤が周辺ほ場に飛散しないよう散布してください。

3 雑草対策 ～汚粒の発生防止～

- 汚粒の発生原因となる雑草や青立ち株は、収穫前までに必ず抜き取り、ほ場外へ持ち出しましょう。
- 特に、ヨウシュヤマゴボウ、イヌホオズキは毒性があり、収穫物に果実汁が付着すると検査対象外となるので、必ず抜き取りましょう。
- 青立ち株が多発生したほ場は、正常に成熟したほ場と刈り分けて収穫しましょう。



ヨウシュヤマゴボウ（赤色）



イヌホオズキ（紫色）



青立ち株（右の株）

目標収量180kg/10a、3等級以上を目指し、
一つひとつの管理対策を確実に実践しましょう！